

# 157.アテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法における尿蛋白発現によるベバシズマブ中止に関する調査

## 研究の概要と目的

アテゾリズマブとベバシズマブが切除不能な肝細胞癌に対する適応追加が、2020年9月25日に承認され、当院でもアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法が2020年11月より使用されています。治療経過の中で、尿蛋白発現によりベバシズマブが中止となるケースが散見されます。当院でアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法における尿蛋白出現によりベバシズマブが中止となる要因について調査します。

## 研究の目的と方法

本研究では、2020年11月から2022年1月までに肝細胞癌に対してアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法が使用された患者を対象としています。診療で得られた臨床データ（性別、年齢、身長、体重、腎機能、尿検査、既往歴）を電子カルテから抽出します。

## 本研究の参加について

これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

## 調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。研究対象者（患者様）の個人情報（氏名、住所、電話番号、カルテ番号など）は記載せず、対応表を作成して管理しますので、個人情報は特定されません。

## 調査期間

研究対象期間：2020年11月1日から2022年1月31日まで

研究実施期間：委員会承認から2023年3月31日まで

## 研究成果の発表

調査した患者様のデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。また、個々の患者様のデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

## 研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 薬剤部 藤田強記

## 当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 薬剤部 藤田強記

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 薬剤部 藤田強記 電話096-353・6501